

群馬県議会 リベラル群馬

街頭演説 700日 県政の革命児!

後藤かつみ

県議会だより

vol.16

発行 リベラル群馬 後藤かつみ事務所
住所 高崎市八幡町800-24
TEL&FAX 027-343-1393
e-mail ccrgoto@af.wakwak.com<http://www.ccrgoto.com/>H23年度
予算

「積極型」予算の中身を検証

危機感を持った雇用対策か？

本県の有効求人倍率（高い程働き口がある）は0.7倍、正社員に至っては0.4倍と、若者を中心に極めて厳しい雇用環境が続いています。

H23年度予算では、

国の雇用対策予算を活用して、安定した職に就いてない若者を雇用する企業に対し、給料（6カ月）と研修等の全費用を県が負担すること、正社員化を促す「再チャレンジ支援

事業」を新設。使い勝手の悪かった国の雇用

対策予算が、地方の実情に合わせて柔軟に使えるようになったことは、政権交代の一つの成果と言えるかもしれません。

また若者就職支援の中核を担う「ジョブカフェぐんま」についても予算を拡充してスタッフの増員を図るなど、県独自の若者支援策も一定の評価ができる中身となっています。



真剣に予算をチェックする後藤かつみ

雇用対策

- 「再チャレンジ支援事業」 2億7,000万円
企業に対し、若者を雇用する給料（6カ月）と研修等の全費用を県が負担し、正社員化を支援
- 介護雇用プログラム 10億円
施設に対し、雇用する給料（最長2年）、介護福祉士・ホームヘルパー2級の取得費用を県が負担
- 若者就職支援センター（ジョブカフェぐんま）の予算拡充（800万円）によるスタッフ増員



若者との交流を通じて厳しい雇用情勢を現場から聞く

公共投資の転換は図られているか？

雇用を創出するためには、「新たな産業の芽」を育てる公共投資への転換が必要です。

特に、これまで国の景気対策予算に頼って行っていた「家庭用太陽光パネル設置補助」について、国の予算が無くなる来年度どうするか注目されましたが、H23年度は県単独予算で継続したことは英断であると評価できます。

新たな公共投資

- 家庭用太陽光パネル設置補助 3億2,000万円
24,000円/kw（最高80,000円）
4,000軒分
- 電気自動車充電器設置補助 4,000万円
県内20カ所設置予定
- ぐんまの木で家づくり支援 4億円
県産木材住宅1戸当たり
最高80万円の補助

に乗り出していることに呼応し、充電器設置によるインフラ整備を

進めるなど、徐々にではありますが、未来型公共投資に道筋をつける内容となっています。

財政健全化の後退は無いのか？

本県の歳出予算の伸び率は、地方自治体が予算編成の基準とする「地方財政計画」の伸び（0.5%）を大きく上回る1.8%となつていきます。特に公共事業費等の投資的経費については、地財計画が▲5.1%、隣の栃木県が▲11.9%と縮減を進める中、本県は3.8%増という「公共事業積極型」の予算となつていきます。その

基金を昨年度より100億円も多く取り崩して財源に充てています。

景気回復を受けて、栃木県のように財政健全化に舵を切る自治体が多い中、本県は逆に「貯金を一気に吐き出す」形での予算編成となつていきます。リベラル群馬は本会議の中で、「貯金がゼロになったらどうするのか？」と財政健全化の点で懸念があることを指摘しました。



「ジョブカフェぐんま」における若者就職支援の現状をくまなく視察。

厚生文化常任委員会

(医療や福祉について 審議する委員会)

高齢者認知症対策 の強化を提言

リベラル群馬は、認知症の妻を持つ議員もいることから、高齢者認知症対策に力を入れて取り組んでいます。後藤も、認知症対策には早期診断と適切な専門医療の提供が不可欠であることから、その中核となる機関の整備を提言してきました。県も、対策の中核と

介護人材確保へ 踏み込んだ施策を提言

福祉の根幹を支える介護人材確保は喫緊の課題です。後藤は、国



障害者支援の現場を視察



高齢者介護における現場レベルの工夫について学ぶ

子育て支援の 推進を提言

子育て支援策は、子育て実践中の後藤にとって身に沁みて重要な



学童保育の現状を視察

性を痛感する課題です。後藤は、次年度予算に向け、共働き夫婦への子育て両立支援を中心に施策の充実を提言してきました。

H23年度予算において、保育所の整備により310名の定員増を図るとともに、学童保育についても11カ所(うち新設7カ所)整備されるなど、着実にハード面での整備が進みつつあります。

今後の課題として、特に学童保育では、指導員の処遇改善による人材確保など、ソフト面の体制整備が著しく遅れている点について指摘をしています。

地域活動 報告

後藤かつみは、地域の安心安全の向上のために日々汗を流しています。
皆様の地域の「声」をどんどんお寄せ下さい。



子供たちが安心してプレイできる公園に



隅切りにより見通しの良い交差点に



側溝未整備区間の解消を進めます

グラウンドネットの改修 (八幡町筑山公園)

育成会によるソフトボールの盛んな日の出地区にある筑山公園はネットが低く、ちょっとした打球でも民家に直撃してしまう問題がありました。

後藤は、育成会・地元市議とともに改善を要望し、ネットを大幅に高くすることにより、子供たちが安心してプレイできる環境を整備しました。

交差点の隅切り改良 (八幡町)

八幡神社の北側から若田方面に抜ける市道において、鋭角で危険な交差点の改良が長年の課題でした。

後藤は、地元町内会・市議とともに改善を要望し、隣接地の開発を機に隅切り改良を実施。見通しの良い交差点になりました。

側溝の整備 (中豊岡町)

国道18号中豊岡南交差点から東に入った市道では側溝の未整備区間があり、長年陳情を行いつつも実現しませんでした。後藤は、地元町内会とともに早期の実施を要望し、H22年度予算で実施がスタートしました。次年度以降に本格的に整備が進む予定です。